

令和2年 第9回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 令和2年9月16日(水)
開会 13時30分
閉会 14時30分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(7名)

教 育 長	野 口 弘
教 育 委 員	田 邊 俊 治
〃	岡 能 久
〃	大 島 淳 光
〃	丸 山 章 子
〃	木 村 陽 子
〃	長 澤 裕 子

事務局	教育次長(兼)学校教育部長	加 藤 弘 行
	教育総務課長	堀 場 喜一郎
	教育総務課担当課長(兼)課長補佐	松 田 潤一郎
	担当部長(兼)学校職員課長	羽 場 政 彦
	学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐	田 村 創
	担当部長(兼)学校指導課長	寺 井 義 春
	学校指導課担当課長(兼)課長補佐	青 山 雅 幸
	市立工業高校事務局長	新 出 光 昭
	生涯学習部長	中 坂 暢 江
	生涯学習課長	村 田 英 彦
	(兼)長土堀青少年交流センター所長	
	図書館総務課長	池 田 光 穂
	(兼)玉川図書館長	
	(兼)近世史料館長、城北分館長	
	教育プラザ総括施設長	松 本 季 之
	(兼)地域教育センター所長	
	学校教育センター所長	熊 谷 有 紀 子
	文化財保護課長	納 谷 英 行

4 案 件

議案第28号	金沢市指定文化財の指定について	(文化財保護課)
報告第26号	令和2年度「金沢市『携帯電話・インターネット』アンケート」の結果概要について	(学校指導課)
報告第27号	令和2年度成人式の開催について	(生涯学習課)
非 報告第28号	令和2年度金沢市教員採用候補者選考試験(金沢市立工業高等学校教員)の結果について	(学校職員課)

そ の 他

(1) 令和2年度金沢市立小・中学校卒業式日程について

- (2) 金沢市立工業高等学校の活動状況について（令和2年4月～令和2年8月）
- (3) 令和2年度夏季休業中の教職員研修等について
- (4) 次回の定例会議の日程について

5 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者7名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員に田邊委員を指名した。本日の議題について野口教育長が報告第28号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、議案第28号、報告第26号、報告第27号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、10月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に報告第28号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 10月の定例会議の日程：令和2年10月21日（水）13：30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 議案第28号 金沢市指定文化財の指定について（文化財保護課）

（説明の概要）本件は、8月6日開催の教育委員会会議にて承認後、金沢市文化財保護審議会に対して諮問した文化財について、指定にふさわしいとの答申があったことを受け、当会議での正式な指定をお諮りするものである。

別添資料1ページ。種別は記念物で天然記念物、名称は国見町八幡神社社叢、員数は登記面積で393m²、所在地は金沢市国見町ロ127番、所有者は八幡神社である。指定理由は、前回の教育委員会会議でご説明したとおりだが、文化財保護審議会の議論を経て、文献にて確認できない推定や可能性といった文言は本文から削除し、整理している。

また、前回の教育委員会会議で所在地について分かりやすい地図を提示することとなっていたので、資料の最後に添付している。山あいのため目標物がないが、国見町に入っすぐの民家が集まっている場所で、舗装された道路から10mほどの場所にある。

イタヤカエデを優占種とする社叢は全国的に見ても希少であり、複数の巨樹が群生している群落は極めて貴重である。国見町八幡神社社叢は、金沢市指定文化財としての価値を十分に有しており、現状の植物群落を維持するため、今後も継続的な管理の取り組みと積極的な保存を図りたいと考える。

田邊委員

文書に地域の方が保全や管理をされていると書いてありますが、この神社には宮司がいるわけではなく、あくまで地域で管理されているということでしょうか。

納谷文化財保護課長

宮司は、常駐していません。こちらは空き家の状態になっていますが、町会組織としては存続しており、町会長が主となって、いわゆる氏子総代という形で管理しておられます。ちなみに、氏子総代の町会長の方は、この山間地一帯のいろいろな樹木に興味があり、国見町の下の方の榎見町の榎木などにも非常に関心をお持ちでいらっしゃいます。

田邊委員

ぜひ丁寧に管理していただければと思います。

○ 報告第26号 令和2年度「金沢市『携帯電話・インターネットアンケート』の結果概要について（学校指導課）

（説明の概要）議案書5ページ。本アンケートは、金沢市立小・中・高等学校児童生徒の携帯電話やインターネット等の利用状況について実態を把握するため、平成25年度より、小学校は4年生以上の全児童、中学校・高校は在籍する全生徒に対して実施している。

集計結果は別紙資料にある。なお、高校については金沢市立工業高校1校のみであり、個別の学校の状況になることから、集計結果には掲載していない。

結果の概要である。問1の「携帯電話・スマートフォンの所持状況」については、小・中学校ともに増加傾向にあり、特にスマートフォンの所持率が年々増加している。

問3の「インターネット接続可能機器の所持状況」については、小・中学校ともに9割以上が持っている状況である。

問4の「携帯電話、インターネット接続可能機器等の使用時間」については、小・中学校ともに1日1時間以上使用する割合が年々増加している。特に3時間以上使用する児童生徒が増加していることから、生活習慣の乱れなどに繋がることを大変危惧している。

問5の「携帯電話、インターネット接続可能機器等の使用時のルール」については、小・中学校ともに「使う時間を決めている」と回答した割合が年々増加していることから、ルールづくりの必要性が家庭でも高まっていると推察される。

問7の「インターネットによる被害を受けた状況」、問8の「インターネットによる不適切な行為の状況」については、割合は大変少ないものの、「悪口を書いた・書かれた」「自分や他人の個人情報を流した・流された」「インターネット上で知り合った人と電話やメールなどをした」などと回答した児童生徒もいることから、児童生徒がトラブルや事件に巻き込まれないよう、学校訪問、生徒指導支援室による個別対応などを有効に活用し、学校を通じて児童生徒へ指導を継続していく。

問9の「インターネットに関する知識理解の状況」では、インターネットによる誹謗中傷は犯罪であること、誰が書いたか調べることができることについて、小・中学校ともに「思う」の割合が増加していることから、各学校での指導の効果が表れていると考える。

今般、インターネットを介したトラブルが大きな社会問題となっている。本市においても金沢市教育プラザ此花・少年育成支援室が作成した保護者向けのチラシを配布し、家庭内でのルールづくりを促したり、文部科学省の資料を情報教育の年間指導計画の中で活用したりして、情報モラル教育の推進に努めているところである。また、本アンケート結果を踏まえ、警察職員、大学教員、金沢地方法務局職員などの外部の専門家を招聘し、ネットいじめ防止講演会を開催するとともに、保護者懇談会、学校だよりなどを通して、携帯電話やインターネットの利便性や危険性、規則正しい生活習慣の大切さを周知している。今後とも保護者と連携を一層進めながら、情報モラル教育がさらに充実するよう努める。

田邊委員

現在の子供たちの様子がこの調査を通して把握でき、経年的な変化もよくつかめるのですが、問1で「どちらも持っていない」という小・中学生も少なからずいることがよく分かります。また、国際調査で日本の子供たちのICTスキルがとても弱いという一面もあります。機器を利用することによって良い面もあるし、デメリットもあるわけですが、利便性が抑制的になってしまっている気がしますので、上手に活用するという面を強調してもいいと思います。

GIGAスクールで学習用端末が使えるようになることもありますが、モラルを強調する部分もとても大事ですが、学校内でも家庭内でも、上手に活用することを意識していくことも大事ではないかと思います。ですので、そういう実情を探る項目もあっていいと思います。

寺井学校指導課長

ご指摘ありがとうございます。現在、1人1台の学習用端末の導入を進めていますが、これを踏まえて学校指導課が中心となり、学校の情報化推進に関わる全体計画を作成しています。その中で、情報活用能力の年次計画、各学年それぞれのステップを示す中で、情報モラル教育も当然そこには含まれますが、ご指摘いただいたICTに関する基本的なスキルを低学年のときから中学生に向けてどのように向上させていくかというのを具体的に示しながら、各学校で計画づくりを進めています。その中でICTを上手に活用することを、子供たちに定着させていきたいと思っています。

コロナ禍での臨時休業では、ICTの活用がとても有効で大切だということをご家庭も実感されたし、私たちも実感したところでもありますので、プラスの面とバランスを上手に取りながら、ICT化を進めていきたいと考えています。

木村委員

携帯電話やスマートフォンは学校へは持ち込んではいけないのですか。

寺井学校指導課長

金沢市では現在、学校への持ち込みは原則禁止としています。文部科学省から7月に携帯電話の持ち込みについて改めて通知が出ましたが、本市としては学校への持ち込みは原則禁止し、保護者から特別な事情等の申し出があれば、学校長が認めた場合に持ち込みできるというこれまでの方針を継続する通知を各学校に出しています。

木村委員

分かりました。問8の「インターネット上で、次のようなことをしたことがありますか」という問いに対して、「したことはない」の割合が9割以上という結果を見てほっとしています。報道を見ると、最終的に命に関わるようなことになる事案もあるので、この数字はとてもうれしく拝見しました。

寺井学校指導課長

今般、マスコミ等で報道される事案については、大きな事態にまで発展するケースもありますので、指導を十分繰り返していきたいと思っています。一方で、ICTを活用する有効性についても、バランスを取りながら指導を継続していきたいと考えています。

大島委員

今の質問に関連しているのですが、問8で気になるのは、オの「知り合った人と電話・メールした」が中学生で5.9%だったことです。かなりマイナーな事案とはいえ、これは恐らく事故や事件につながる可能性が高いと思います。「電話・メールした」から、今度は「会った」につながっていく可能性も出てくると思うのですが、このあたりで何か具体的に対応されていることはありますか。

寺井学校指導課長

ここで挙げたものについては全て事件性など深刻な状況になるというものではありませんでした。ただ、中には、関係機関と連携を取りながら指導・対応を勘案する必要がある場合もあります。やはり事案が複雑化していくと、子供にとって生命も含めた危険にさらされる状況になりかねないので、この辺りの指導を繰り返し、家庭への啓発なども続けていきたいと思っています。

丸山委員

情報モラル教育はとても重要だと思うのですが、小学校から中学校へ上がり、スマホを持ちだすと一気にその危険性が出てくると思います。その中で、学校ではいろいろな教育をしているという説明が先ほどあったのですが、保護者との情報共有というか、学校でどういう指導をしているかということ保護者があまり知らないケースがあると思うのです。そのあたりはどうなのでしょう。

寺井学校指導課長	先ほどの説明でも少し触れましたが、ネットいじめ防止講演会をできるだけ保護者と児童生徒と一緒に聴くことを推奨しています。開催回数は、年々増加しています。また、学校だよりなどで、学校での指導内容をできるだけご家庭にも周知していますし、少しずつ見られている例ですが、メディアコントロールデーとあって、ゲームなどを使わない日を学校で月に1回というふうに決めて、その日に家庭でICTやスマホ、ゲーム機の使い方について考えてもらうという取り組みを、学校を中心に進めているところがあります。こうした好事例や具体的な取り組みを各学校に広めながら、学校と家庭が連携して取り組んでいけるように進めていきたいと考えています。
野口教育長	この調査は毎年この時期に行っているのですね。
寺井学校指導課長	はい。
野口教育長	この調査は6月22～26日に用紙を配布して、6月23日から7月3日にかけて回収されていますが、今年度は新型コロナウイルスの臨時休業があり、学校が全面再開されたのが6月1日からでした。保護者の方や先生方、子供たちと話をする中で非常に気になったのは、休業期間中のゲーム依存なのです。特に今年度は、そういった部分がこのアンケート結果に表れていないか危惧しているのですが、いかがですか。
寺井学校指導課長	ご指摘いただいた点については、学校から大変心配しているという声を聞いています。夜中にかけてずっとゲームをして昼夜逆転の生活になってしまったり、休業期間中にゲームをする習慣がついて、なかなかそこから抜け出せなかったりしているという話も聞いています。 少年育成支援室から出している保護者向けのチラシ、周知パンフレットには、ゲーム依存の危険性についても訴えるような項目を設けています。教育長からご指摘いただいた点についても、アンケートの項目なども今後検討して、長時間ゲームをしていないかどうか、児童生徒の傾向をつかみながら、指導に生かしていけるよう検討していきたいと思っています。
野口教育長	来年度に向けて改善が図れるようにお願いします。来年度の結果と比較すれば、今年度のコロナ禍での子供たちの動向が鮮明になると思っていますので、分析を加えていただければと思います。

○ 報告第27号 令和2年度成人式の開催について（生涯学習課）

（説明の概要）議案書7ページ。今年度の方針としては、金沢市公民館連合会と協議の上で策定した「金沢市成人式新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」により、感染症対策を十分に講じた上で開催することとする。なお、今後の感染状況に応じて、ガイドラインの内容を変更して対応することとする。日程は、例年同時期の令和3年1月9日（土）～11日（月・祝「成人の日」）である。

感染症対策は、主に三つの視点で行う。1点目は、感染リスク低減のための「時間短縮」である。来賓挨拶は市長または市長代理を含め2～3人程度とする。2点目は、感染者を入場させないための「体調確認の徹底」である。受付で参加者の検温を行うほか、事前に配付する体調チェックシートにより、体調が優れない方に対しては入場を考慮していただく。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の登録を推奨する。3点目は、人と人との距離を空ける「三密回避の徹底」である。集合写真を撮影する場合には直前までマスクを着用して会話を控えるほか、記念品や配付物は座席などに配置し、手渡しはしない。また、懇親会を行う場合には、座席の配置や配膳の工夫などの方策を取る。また、家族等の参加について配慮する。

これらのほか、ガイドラインを参考に、各地区の実情に応じて感染防止対策を徹底して成人式

の準備を進める。

田邊委員

成人式が開催されることになり、よかったですと思います。これは教育委員会案件なのかどうか分かりませんが、成年年齢が2022年度以降、18歳からになります。そうなった時に、成人の日の対象者を検討する余地があるともいわれていますが、そのあたりはどうなるのでしょうか。検討する予定は現段階でありますか。

村田生涯学習課長

2022年度から、18歳になる方が成年年齢となります。実は先日、2年後に18歳となる方にアンケートを実施しました。その結果と国の調査や県内、他都市の状況などを踏まえて、今年度の秋ごろをめどに結論を出せればと思っています。今、アンケートの集計・分析を行っているところであり、社会教育委員会議にお諮りした後、当会議にもご報告したいと思っています。

○ その他（１） 令和２年度金沢市立小・中学校卒業式日程について

（説明の概要）議案書10ページ。卒業式の日程の設定に当たっては例年、中学校は公立高校入試後、授業日を2日間確保することを基本としている。また、小学校は例年どおり、中学校卒業式実施後2日連続で実施することを基本としている。この考え方にに基づき今年度は、中学校は公立高校入試日が3月9、10日に決定したことから、入試日より2日の授業日を確保し、3月13日（土）午前に設定した。また、これに伴い、小学校の卒業式は3月18、19日の午前と午後に設定した。なお、卒業式の内容などについては、今後の新型コロナウイルスの感染状況などを踏まえて対応する。

（特になし）

○ その他（２） 金沢市立工業高等学校の活動状況について（令和２年４月～令和２年８月）

（説明の概要）議案書11ページ。「1. 高校生ものづくりコンテスト」は、生徒の技術向上を図るため、全国工業高等学校長協会が毎年夏休み期間中に開催しており、北信越大会、さらには全国大会につながるものづくりのインターハイという位置付けになっている。ただ、残念ながら、今年度は新型コロナウイルスの流行に伴い中止となった。

「2. 資格取得」の状況である。危険物取扱者や計算技術検定、小型車両系建設機械など各検定で資格を取得している。今年度は新型コロナウイルスの影響で中止や延期となった試験も多く、例年に比べると取得数が減少している。ただ、後期は難関資格とされる国家資格をはじめ、多くの資格試験も実施されると聞いているので、できるだけ多くの合格者を輩出できるよう、学校全体で支援していきたい。

「3. 部活動」の結果である。全国高校総体（インターハイ）の中止に伴い、予選となる県高校総体、総文大会が中止となった。こうした中、各競技で代替となる交流試合などが行われた。多くの競技で順位を決めずに交流を図る大会が多い中、順位を決めた競技の結果を報告する。7月には、ボウリング部や男子バドミントン部などが好成績を収めた。8月には、新体操部が富山で開催された北信越体操2020メモリアルカップで団体4位の成績を収めた。

「4. その他活動」については、中学3年生を対象としたオープンキャンパス、体験入学や部活動を体験できる体験入部などの開催を中止した。10月に予定していた2年生の修学旅行は、訪問先が沖縄県ということもあり、今年度の実施は見送り、来年度への延期を考えている。しかしながら、先行き不透明なコロナ禍の中で、PTA、保護者からの意見も参考にしながら、来年度の延期については慎重に検討したい。

「5. 国際交流」は、今年度の実施はない。

「6.10月以降の主な活動予定」としては、10月16日から民間企業就職試験が始まる。今年度は新型コロナウイルスの影響を勘案し、厚生労働省が採用解禁の1カ月延期を決めたので、1カ月遅れのスタートとなっている。その他に吹奏楽部定期演奏会、金工祭、公開課題研究発表会などが予定されているが、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら実施の有無を慎重に判断したい。

丸山委員

2年生の修学旅行が来年度に延期になると、3年生のときに行くことになると思うのですが、今の1年生が2年生になったときはどうなるのでしょうか。ずっと3年生のときに行くことになるのでしょうか。

新出市工高事務局長

今の1年生が2年生になったときの修学旅行については、例年どおり10月初旬を予定しています。2年前に旅行会社を入札で決めており、日程も企画も進めているため、10月初旬の実施となります。現在延期を考えている2年生については、65%の生徒が就職希望ということで、この頃には就職活動もある程度収まっているため、来年の12月中旬頃を予定しています。

ただ、行き先については、当初は沖縄でしたが、せっかく海などを楽みにしていた生徒もいます。沖縄という訪問先に限らず、他の市町村、コロナ禍の影響のない場所なども考えつつ、保護者やPTAと相談し、生徒自身のアンケートも取りながら、慎重に判断していきたいと思います。

長澤委員

就職する生徒が多いということで、学校として就職支援をされていると思うのですが、コロナ禍の中でオンラインでの面接などが実際にあるのか、それに向けて学校として何か支援しているのか、教えてください。

新出市工高事務局長

仰せのとおり、今年度に限ってはオンラインでの面接もかなり実施されると伺っています。当然、去年よりは企業からの学校訪問は減っていますが、生徒が志望している企業は網羅して、企業からは採用を考えたいとの声を頂いておりますので、ほぼ生徒や保護者の志望どおりの就職先が大体決まっていく形になるかと思います。その中で、関東など県外の大手企業ではオンラインの面接を実施するという話は聞いています。その対策として、去年とは違う模擬面接の準備も学校で対応していきたいと考えています。

長澤委員

分かりました。よろしくお願いします。

野口教育長

下半期にも様々な活動があります。これまでも報道の方にご協力いただき、市立工業高校の活動の様子を取り上げていただいておりますが、適時情報発信され、市立工業高校のアピールをぜひお願いしたいと思います。採用はなかなか厳しい状況ですが、一人でも多くの生徒が希望した職種に就けるよう、ご努力いただきたいと思います。

○ その他（3）令和2年度夏季休業中の教職員研修等について

（説明の概要）議案書12ページ。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、予定していた150講座を95講座に精選して実施することとした。法定研修である初任者研修や中堅教諭を対象とした研修を優先し、受講者の密を避けて会場を分散したり、時間短縮やICTを活用した新たな研修を開催したりした。昨年度より24講座少ない35講座を実施し、受講者は1,878人となった。

実施方法としては、先生方が教育プラザに集合し、講師は大学等の遠隔地から講義を行い、双方向でやりとりを行うライブ配信型、録画した研修動画を集合しないで先生方が各自で視聴するオンデマンド配信型など、従来の集合型研修とは異なる新たな方法で実施し、受講した生徒数は

621人だった。

主な研修内容は、(1)授業力の向上を目指す研修では、今年度は若手教員がキャリアステージにおいて身に付ける資質と能力の向上を図る選択研修を実施し、(2)今日的な重要課題等への対応では、学校現場にあるさまざまな今日的課題に対する資質・能力の向上を図るために、働き方改革やネット依存等の研修を実施した。(3)特別支援教育では、児童生徒への理解と指導力の向上を図るために、特別支援学級や通級指導教室などの担当の先生方を対象として、ICTの活用やコミュニケーション支援などニーズに応じて選択できる研修を実施した。

今年度はやむを得ず中止した研修もあったので、教職員の資質・能力を維持・向上させる手立てとして、次の2点に取り組んだ。1点目は、デジタル共有サイトを活用した個別支援型研修の充実である。先生方に、各学校等においていつでも何度でも研修していただけるよう、本市教職員研修を録画した動画や教職員支援機構の研修動画、各種研修資料のオンデマンド配信の充実を図った。2点目は、学校を会場にした訪問型研修の実施である。ICT活用指導力向上研修のほか、各学校や教職員のニーズに応じて支援を行う校内研修や授業づくりのサポート、教職員個別サポートなど、感染拡大防止に配慮しながら実施してきた。

16年間続いている中国・大連市への海外教育派遣研修については、今年度は中止とした。また、教職員の特別支援教育研修にも資する趣旨で開催予定であった「多様性のある子供たちの教育を考えるフォーラム」についても今年度は見合わせ、次年度の開催を改めて検討することとした。引き続きICTの活用を進めるなど、教職員が本分に専念できる時間を確保しながらも、教育現場のニーズに応えるより良い研修の在り方を検討していきたい。

田邊委員

講座が一部中止となった事情はよく分かるのですが、従来の形に代わるようなオンデマンドや双方向という研修スタイルは、今後も実施できると思います。講座を担当される講師がそういう形でも差し支えないのであれば、先生方の指導力を支えていく上で効果的だと思いますので、ぜひ継続していただければと思います。今年度後半にもまた増える可能性はあるのですよね。

それから、今年度実施されたものが、センターとしてのアーカイブという形で、次年度以降も活用できるような形で積み重ねていけば、例えば隔年で研修を開催する形式をとることや、これまで年度ごとに行われていたものを柔軟に対応することも可能だと思うのですが、そのあたりも工夫されるといいと思いました。

熊谷学校教育センター長

最初のご質問については、特に個別の訪問研修については今後も先生方の申し込みも多く入っていますので、これから研修のスタイルを柔軟にしながら取り組んでいきたいと思っています。

2点目については、先生方にZoomやオンデマンドで研修をした感想を書いていただいているのですが、いつでも何度でも研修することができますし、Zoomでやりとりをする経験がこれまでなかなかなかったので、新しい経験ができたということで非常に好評だったので、来年度に向けて検討していきたいと思っています。資料などについても、先生方がパスワードで入れるサイトがありますので、柔軟に活用していきたいと思っています。

野口教育長

残念ながら、16年続いた大連研修も延期になりましたが、最近思うのは、今まで支えていただいた大連側の趙亜平先生も80歳を超えるご高齢ですし、また日本側でもアルプの古賀克己先生が80歳を超えていらっしゃる中で、次のつながりというか、持続可能な研修になるよう努力し、今度は我々が長きに渡る研修基盤をつくり上げていく番ではないかと思っています。そういうところも意識しながら研修が長く続くように頑張っていたかどうかをお願いします。

○ 教育委員の退任について

(説明の概要) 岡委員におかれては平成20年10月1日より3期、12年間にわたり、教育委員をお務めいただき、9月30日の任期満了をもって教育委員を退任されることになった。

岡委員

3期、12年間にわたり、平均寿命からすると私の人生の第3コーナーという時間を金沢市教育委員として過ごすことができたことは、大変幸せなことだと思っています。

社会人として金沢へ戻ってきてから40歳までの間、青年会議所では金沢のまちで暮らしていく上での人脈や人間関係を築かせていただきました。また、30歳から50歳までの間は茶道裏千家の全国委員として、全国をいろいろ回って、日本各地にお茶を通して友人をつくることができました。中国の天津にある、裏千家がつくった短大の講師もさせていただいて、毎年のように天津、北京へ行ってきました。50代のときには、経済産業省から支援事業を認可いただいて、イタリア、ウィーン、パリ、ドイツで、日本文化を代表する漆器、漆芸について、販売促進を含めいろいろと啓蒙活動を行いました。そしてその後、70歳までの12年間、教育委員として、また26年間は家庭裁判所の調停委員として、ちょうど両方が重なったときはとても大変な思いをしましたが、社会貢献の一助となることができたことは本当にありがたいことだと思っています。

思い出しますと、最初に市議会で委員長代理として出席して、発言機会はなかったのですが、ずっと座らせていただいて、市の広報課の人に頼んで記念写真を撮ってもらったことは人生のいい思い出になりました。また、学校訪問のときに「講評してください」と言われて、何を言えばいいのかと大変ドキドキした気持ちになったのですが、まずは褒めることだと思って、「大変きれいな学校ですね」というところから話を始めさせていただきました。今思うと本当に赤面の至りです。

また、毎年9月に連合運動会に参加して、「『若い力』をぜひ見なさい」と言われたのですが、それよりも先に、最初の準備体操をグラウンドに立って先生方や生徒と一緒にしました。とてもリズムカルな準備体操で、昔のラジオ体操とは全然違ったものでした。気が付いたらグラウンドに立っている中で自分が最高齢になってしまったなど数年前から感じていました。

現在、新型コロナウイルスで過去に経験したことがないような状況に社会は直面していますが、特に子供を預かる学校現場の先生方の気遣いや対応は、私たちの想像を絶するものがあったと思っています。本当にご苦労さまです。

「めざすべき金沢の子ども像」を描いた学校教育振興基本計画、また「めざす学びの姿」を描いた生涯学習振興基本計画という二つの基本計画に基づいた金沢市の教育行政大綱の具現化を目指し、教育現場を指導する先生方と事務方の職員の方々が両輪になって、教育行政がこれからも発展していくことに期待しております。

「金沢子どもかがやき宣言」にありますように、これから残された人生において、故郷の金沢を愛し、誇りを持ち、未来に向かって輝く行動を続けられるように、健康に気を付けながら、これからも精進していくつもりです。最後に、皆さま方、本当にありがとうございました。皆さまのご健勝を祈念して、謝辞とさせていただきます。どうもありがとうございました。

以 上

会議録署名

教育長 _____ 署名

教育委員 _____ 署名

(田邊委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 報告第28号 令和2年度金沢市教員採用候補者選考試験（金沢市立工業高等学校教員）の結果について（学校職員課）

審議結果についても非公開

以 上